

平成27年度事業報告

I. 事業の概要

当協会の事業は、公益目的事業・収益活動事業・法人に係る事業に大別し、公益目的事業にあつては普及認定活動事業及び地域組織活動事業であり具体的には、公認コースの認定事業、アドバイザー・指導員など指導者の認定事業、機関紙やホームページによる広報事業、さらには愛好者拡大のためのイベントの実施や支援、地域組織の強化を図るための事業などを実施した。

一方、収益事業は用具用品等の認定と書籍・物品等の販売事業を実施しており、クラブ・ボール・ティなどの用具認定に係る益金及びシューズ・ウェアなどのグッズ用品に対する商標権の提供に係る益金、ルールブック等の販売益金が主なものであり法人に係る事業は、法人の管理業務に関するものやその他法人全般に係るものである。

II. 協会運営に関する事項

パークゴルフの正しい普及発展に寄与し、法人としての協会運営の充実を図るため、下記のとおり会議等を開催した。

(1) 平成27年度定時総会

平成27年4月23日(木) 15:30~18:00 札幌市

正会員数 40 団体

出席者数 40 団体

議決事項

- ・平成26年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業報告
- ・平成26年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支決算
- ・監査報告

報告事項

- ・平成27年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業計画
- ・平成27年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支予算
- ・功労者表彰

(2) 平成27年度 理事会の開催

第1回理事会

平成27年4月8日(水) 実施

議決事項

- ・平成26年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業報告
- ・平成26年度公益社団法人日本パークゴルフ協会事業会計収支決算
- ・監査報告

第1回臨時理事会

平成27年9月29日(火) 14:00~17:30 帯広市

議決事項

- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会会員に係わる年会費について
- ・公認クラブ等について
- ・連合会運営交付金について

- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会定時総会等について
- ・平成 27 年度公益社団法人日本パークゴルフ協会第 2 回理事会について
- ・NPGA杯第 7 回全日本パークゴルフ大会 2017 北海道十勝 in 幕別について
- ・NPGA杯第 8 回全日本パークゴルフ大会 2018 北海道上川 in 旭川について
- ・「第 31 回パークゴルフ北海道オープン」開催地の決定
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針の制定
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会特定個人情報取扱い規程の制定
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会職員服務規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会会員に係わる年会費の債権放棄について

報告事項

- ・会員の入会承認、公認コースの認定
- ・その他 ㈱マルシン産業のボール交換等の経過

第 2 回理事会

平成 28 年 2 月 18 日（木）14:00～17:30 帯広市

議決事項

- ・平成 28 年度功労者通常表彰の決定
- ・平成 28 年度事業計画
- ・平成 28 年度事業会計収支予算
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会会費規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会表彰規程の一部改正
- ・公益社団法人日本パークゴルフ協会職員給与規程の一部改正
- ・NPGA杯第 7 回全日本パークゴルフ大会 2017 北海道十勝 in 幕別開催日の変更

報告事項

- ・平成 28 年度主要大会について
- ・会員の入会承認
- ・公認コースの認定

4. 組織概要

① 日本協会加盟団体（会員数）	8 5 8		
【正会員（連合会）】	4 0		
【普通会員】	4 4 7	【コース会員】	3 2 9
【一般賛助会員】	2 9	【工業会賛助会員】	1 3
② 愛好者数(推定)	約 1 2 5 万人		
③ コース数	1, 2 8 0 コース	（うち公認コース	3 5 1 コース）

Ⅲ. 事業の実施に関する事項

1. 公益目的に係る事業

日本国内におけるパークゴルフの普及振興を図り、もって人々の心身の健全な発達と生涯スポーツの振興に寄与するために次の事業を実施した。

(1) 認定事業

1) コース認定事業

○新規申請及び更新申請コースを随時審査・認定した。

（認定審査委員会は、原則毎週水曜日に開催）

新規 12 コース、更新 0 コース、増設 4 コース、変更 1 コース

2) 指導者認定等事業

○パークゴルフの普及・指導にあたる指導者を養成し、かつ資質の向上を図り、組織的指導体制の確立を図るために実施した。

実施主体 各連合会、市区町村協会 57回実施 (40連合会 7協会)

指導員 1,196人、アドバイザー 976人

(2) 普及事業

パークゴルフ発祥の原点である「自然を大切に・世代間の交流・安全で楽しいスポーツ」を理念として愛好者の拡大を図るために各連合会及び協会が各種事業を実施した。

1) パークゴルフふれあい事業

①新しいパークゴルフ愛好者への普及活動

- 初心者教室
- 小・中・高校生への啓蒙活動・学校への出前教室等
- 三世代パークゴルフ交流会を各地で開催

②地域間交流、世代間交流を推進するための大会の開催及び後援活動

○日本パークゴルフ協会の主催事業 (3事業)

- ・「NPGA杯全日本PG大会2015」宮城県加美町・大崎市・大衡村 10月10・11日 (土・日)
チャンピオン大会 248人、交流大会 243人、ペア大会 232人、合計 723人参加
- ・「第29回PG国際大会」北海道幕別町 6月21日 (日) 285人参加
(小学生15人、中高生16人、外国人22ヶ国85人、一般・シニア日本人169人)
- ・「第29回PG北海道オープン」北海道白糠町 7月12日 (日) 212人参加

○地域連合会との協賛大会

全国大会 (5大会)

- ・「第19回PG全国交流大会 さくらカップ」宮城県大崎市
5月9・10日 (土・日) 427人参加
- ・「PG全国大会 りんどうカップ2015」岩手県洋野町 6月13・14日 (土・日)
227人参加
- ・「第9回全国PG大会 in 射水」富山県射水市 9月13日 (日) …………… 384人参加
- ・「第六回全国PG東京大会」千葉県酒々井町 9月27日 (日) …………… 342人参加
- ・「2015相馬松川浦カップ全国PG選手権大会」福島県相馬市
12月5・6日 (土・日) 311人参加

○複数パークゴルフ協会連合会共同主要大会 (6事業) …………… 1,485人参加

○各日本パークゴルフ協会連合会主要事業 (27事業) …………… 4,729人参加

③パークゴルフ協会等の組織強化の取り組み

- 協会、連合会設立に向けて各地域との相談業務
- 平成27年度 都道府県パークゴルフ協会連合会連絡会議

平成27年4月23日 (木) 13:00~15:00 札幌市

連合会役員、日本協会理事など関係者 69人出席

議 題

- ・会員等の普及拡大対策についての事例発表 (札幌地区・上川地区・石川県・福島県)
- ・連合会課題事項

- ・「NPGA杯 全日本パークゴルフ大会 2015 宮城」の開催要項
- ・「第 29 回パークゴルフ国際大会」の開催要項
- ・「第 29 回パークゴルフ北海道オープン」の開催要項及び「第 30 回パークゴルフ北海道オープン」について
- ・「NPGA杯第 6 回全日本パークゴルフ大会 2016 北海道胆振 in 苫小牧」について
- ・「NPGA杯第 7 回全日本パークゴルフ大会 2017 北海道十勝 in 幕別」について
- ・その他

○ブロック別会議

- ・東北 6 県連合会ブロック会議
平成 27 年 10 月 11 日（日）16:00～ 宮城県加美町
ブロックパークゴルフ協会連合会役員 14 人、日本協会 5 人
協議事項
 - ・各連合会及び協会の現状と課題について
- ・北海道道北Aブロック会議
平成 27 年 11 月 17 日（火）13:30～ 旭川市鷹栖
ブロックパークゴルフ協会連合会役員 8 人、日本協会 2 人
協議事項
 - ・各連合会が抱える課題等、日本協会からの報告及び課題等
- ・北海道道東Bブロック会議
平成 27 年 11 月 20 日（金）13:30～ 音別町
ブロックパークゴルフ協会連合会役員 6 人、日本協会 3 人
協議事項
 - ・各連合会が抱える課題等、日本協会からの報告及び課題等
- ・北海道道央Cブロック会議
平成 27 年 11 月 27 日（金）13:30～ 札幌市
ブロックパークゴルフ協会連合会役員 10 人、日本協会 4 人
協議事項
 - ・各連合会が抱える課題等、日本協会からの報告及び課題等
- ・北海道道南Dブロック会議
平成 27 年 11 月 24 日（火）13:00～ 苫小牧市
ブロックパークゴルフ協会連合会役員 8 人、日本協会 3 人
協議事項
 - ・各連合会が抱える課題等、日本協会からの報告及び課題等
- ・関東地区ブロック会議
平成 27 年 12 月 8 日（火）13:30～ 東京都台東区西浅草
ブロックパークゴルフ協会連合会役員 11 人、日本協会 2 人
協議事項
 - ・各連合会が抱える課題等、日本協会からの報告及び課題等
- ・中部地区ブロック会議
平成 27 年 12 月 9 日（水）13:30～ 富山市
ブロックパークゴルフ協会連合会役員 10 人、日本協会 2 人
新潟県長岡市パークゴルフ協会 役員 3 人
協議事項

- ・各連合会が抱える課題等、日本協会からの報告及び課題等
- ・九州・沖縄地区、広島県連合会ブロック会議
平成 27 年 12 月 11 日（金）13:30～ 熊本市
ブロックパークゴルフ協会連合会役員 15 人、日本協会 2 人
協議事項
- ・各連合会が抱える課題等、日本協会からの報告及び課題等

④体育協会等の連携促進の取り組み

⑤パークゴルフの日（8月9日）の宣伝活動の実施

全国連合会で大会・交流会・教室等を実施

⑥海外普及活動

海外における「パークゴルフ」の正しい普及を図るため、コースの設置の促進や用具、用品の調達等及び交流大会の実施など支援を行った。

- ・第 2 回（仮称）パークゴルフ国際連盟発足に向けた韓国との準備会議を実施。

平成 27 年 10 月 23 日（金）ソウル

- ・2015 韓・日交流パークゴルフ大会 in ソウル

平成 27 年 10 月 24 日（土）カンサン体育公園パークゴルフ場

参加者 韓・日 128 名

- ・ハワイ・アジア・パシフィック・アソシエーション十勝

平成 28 年 2 月 17 日ハワイ東海インターナショナルカレッジ パークゴルフ体験会

平成 28 年 2 月 18 日ハワイ州政府関係者を対象、パークゴルフ体験会

2) 広報事業

協会機関紙の発行は、年 5 回（奇数月発行・合併号 1 回）で毎号約 9,650 部発行。NPGA 全会員、指導員、関係機関等に配付及び定期購読者へ配付、各地域の普及活動を紹介し、愛好者の増大につながる情報を伝えた。ホームページを運営し、広くパークゴルフの認知拡大を図り、そのほかパークゴルフに関する情報収集、広報活動を実施。

3) 研修会等事業

○ 主任指導員研修会の開催

パークゴルフの正しい普及、きめ細やかな指導を目指し、専門的知識についての研修会を実施。

グループ討議 議題 1 賭けパークゴルフ（賭博行為の撲滅）2 指導者の初心者に対する指導（指導者のあり方）3 パークゴルフの普及（会員を増やす方法）

平成 27 年 4 月 24 日（金）札幌市 主任指導員、日本協会など関係者 64 人出席

○ 指導者研修会

パークゴルフの普及・指導にあたる指導者（アドバイザー・指導員）の資質の向上を図るために実施

実施主体 各連合会、市区町村協会

延 185 日実施、指導員 3,311 人、アドバイザー 3,252 人

2. 収益目的に係る事業

(1) パークゴルフ用具の認定

- 公認申請用具（新規・更新）は、認定審査委員会を開催し、認定した。
（認定審査委員会は、原則毎週水曜日に開催）

平成 27 年度パークゴルフ用具の認定数（認定シール発行数）

認定品目	商社数	認定数	備考
クラブ	11社	31,840本	
ボール	8社	212,100個	
ティ	6社	29,150個	

- 用具、用品の認定マーク（シール貼付）市場調査。
（各連合会のモニターによる定期的市場調査を行った）

(2) 商標使用申請の承認は、認定審査委員会を開催し、承認をした。

（認定審査委員会は、原則毎週水曜日に開催）

- ・ 有料 2件（1社）
- ・ 使用料免除 23件（うち工業会賛助会員1件・営利目的外22件）

(3) 書籍等販売事業

- パークゴルフの正しい普及のため、「パークゴルフルールブック等」を販売した。
 - ・ ルールブック 2,399冊
 - ・ ミニブック 日本語 3,520冊、英語 20冊
- パークゴルフの普及のため、「バッチ・のぼり」を販売した。
 - ・ 協会バッチ 60個 ・ パッキーのぼり 213枚
 - ・ 表彰用メダル 78個